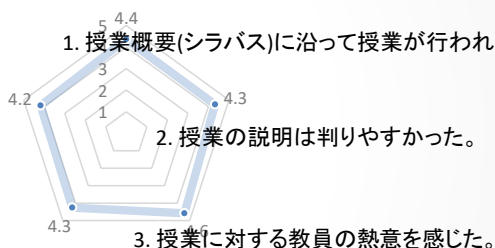


設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	373	207	123	1	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	377	204	99	17	7	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	470	173	58	3	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	337	235	113	17	2	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	318	223	140	11	12	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

この授業を受講したことによって、5. この分野の学びを深めたいと思った。

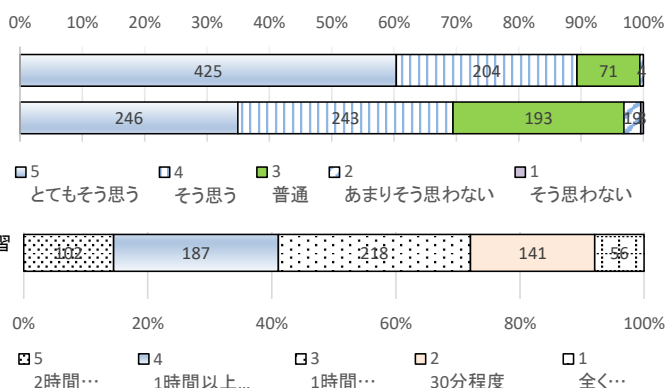
質疑や課題に対するフィードバックが 4. あった。



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	425	204	71	4	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	246	243	193	19	3	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	102	187	218	141	56	3.2

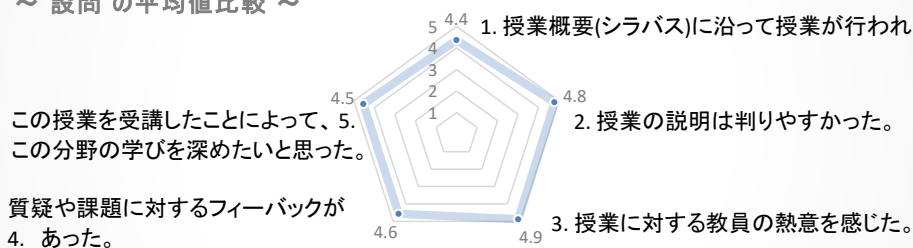
2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。
議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。



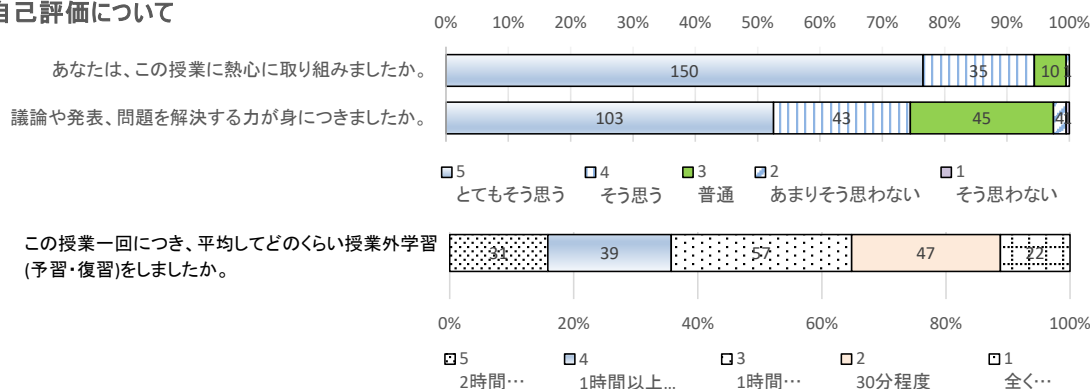
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	109	47	39	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	154	36	6	0	0	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	172	19	5	0	0	4.9
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	129	47	19	1	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	124	53	17	0	2	4.5
総平均							4.6

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	150	35	10	1	0	4.7
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	103	43	45	4	1	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	31	39	57	47	22	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

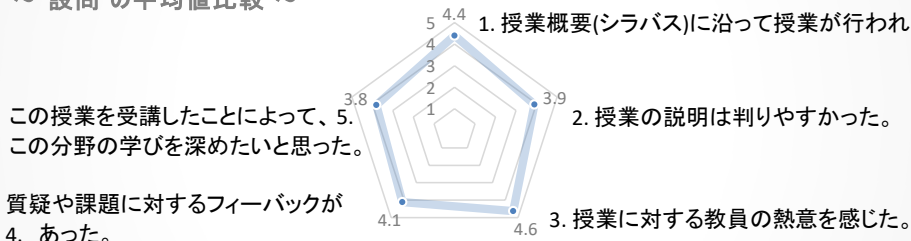
今年度は第1回から第6回までの授業を課題レポートに代替して行った。第1回の課題は「運動不足に焦点を当てたアンケート調査」を実施し、第2～6回は自主的な運動(最低1回15～20分、週に3回以上)について報告し、その内容について助言した。また第7回は「zoom」を用いたオンライン授業を行い、第8回以降は面接授業と併用して「you tube」による動画を配信し、90分授業相当の課題を提示した。面接授業では、触れない、ソーシャルディスタンスの維持、手袋を着用して用具を共用するなど、感染拡大予防を徹底して、限られた条件でもできるだけ身体を動かせる授業を心がけた。ボートボールやドッジボール、体育大会など、例年通りの授業ができなかったが、学生は制約が多い中でも身体を動かす爽快感や仲間との関わりを楽しみながら、日常的な運動の必要性をこれまで以上に考えることができた。推察する。概ね高い評価を得られたことに安堵している。

②課題と展望(授業改善方策)

今後について、新型コロナウイルスの感染者が増え、再び緊急事態宣言が発令されるなど、授業の制約が余儀なくされる可能性もある。「zoom」や「you tube」を用いた授業、課題作成など、前期の経験を活かして、学生の登校が不可能になった場合でも実技授業ができるようにする。「zoom」や「you tube」の活用について、学生の意見をみたと、否定的な記述は見受けられなかった。したがって、今後も更なる有効的な活用方法を模索したい。

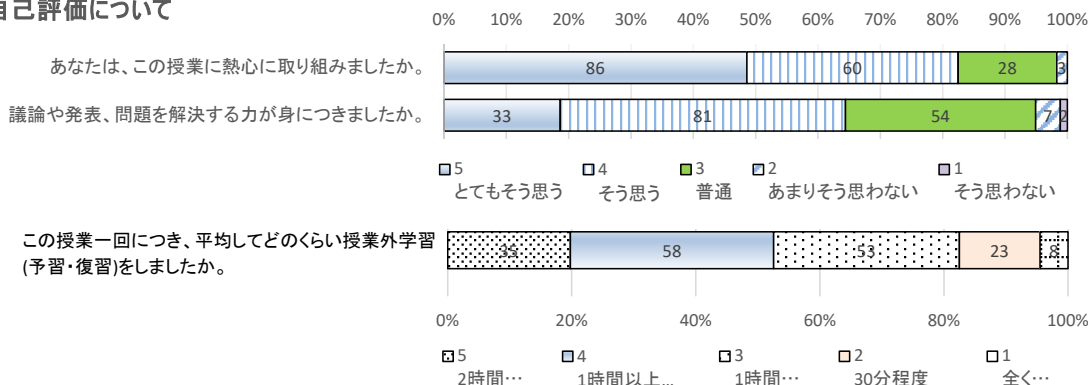
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	93	62	22	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	59	62	40	11	5	3.9
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	125	39	12	1	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	70	68	29	8	2	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	51	59	55	6	6	3.8
総平均							4.2

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	86	60	28	3	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	33	81	54	7	2	3.8
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	35	58	53	23	8	3.5

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

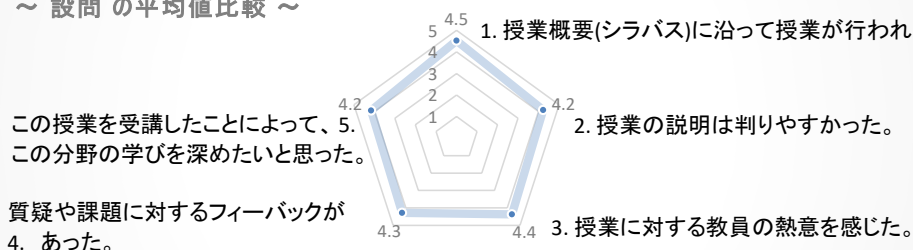
授業の総平均が4.2(84.0%)と高く、大変嬉しく思う。全6クラスとも授業に真剣に取り組んでおり4.3(86.0%)、かつ期末考査への準備や結果(平均73.6%)が良好であったことが要因だと考える。ただし、分かり易い説明は3.9(79.0%)だが、“そうは思わない”学生が5名もいること及び発表に機会が少なかったことが3.8(78.0%)が、大きな反省点である。

②課題と展望(授業改善方策)

今年の授業は、コロナ禍の影響を受け4回の実施。それも、短縮授業で2日分の授業内容を扱わなければならなかった。また、早口での説明に理解できない点が多かったのではと反省している。英語は他の授業と異なり、実技が伴う。理解した内容(文法や語彙)を用いて、4技能(聞いたり・話したり・読んだり・書いたりする)演習の授業である。今後は、演習の時間が十分に確保しつつ、学生の実態(学力・特色・要望)を踏まえて、より一層“魅力ある授業”、“役に立つ授業”を展開していきたい。

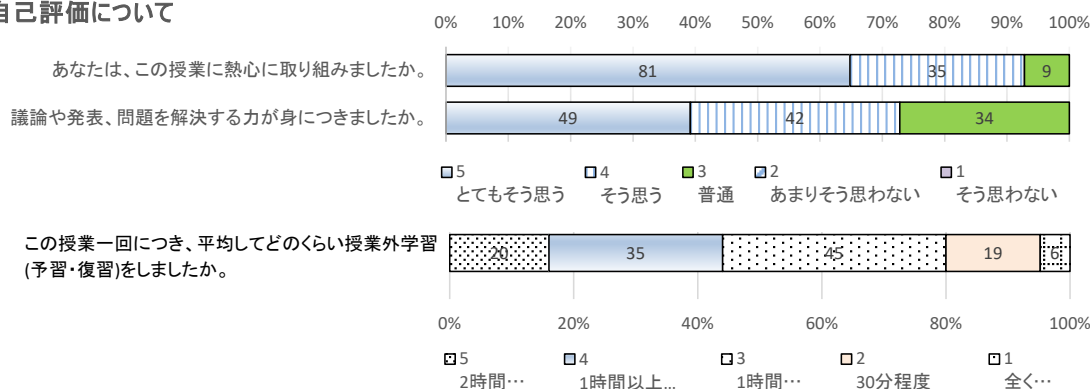
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	81	28	16	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	60	37	24	4	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	63	45	17	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	60	42	21	2	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	59	33	29	2	2	4.2
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	81	35	9	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	49	42	34	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間 以上 2時間 未満	3 1時間 未満	2 30分 程度	1 全く して いない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	20	35	45	19	6	3.4

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

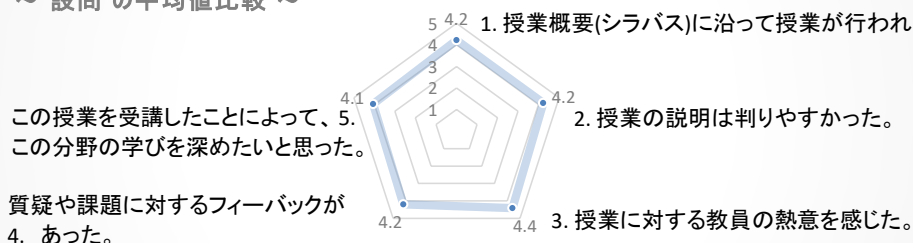
設問1が平均4.5ポイントで最も評価が高かった。次に高かったのが、設問3で4.4であった。いずれの設問も4.0を超えており、総平均は4.3であった。昨年と比べると、総平均で0.4ポイント上昇した。この科目ではOfficeに含まれるWord, Excel, PowerPoint及び情報セキュリティの知識を身に付けることが目標である。授業で使用しているweb教材は授業外での利用も可能であり、Officeを苦手と感じている学生にとって有効である。

②課題と展望(授業改善方針)

全体としてバランスがとれていて総平均でも4.3と昨年度に比べて高い得点であった。また、授業時間外での学習時間について、全くしてないと回答した学生が6人おり、30分程度と答えた数を加えると25名を超えている。苦手とする項目を重点的に学習するためには自己学習が必須であることを考えるとさらに課題学習の機会を増やすことも検討したい。今回は新型コロナウイルスの影響でポータルサイトを使っただけの課題学習が増えたこともあり、それが今回の結果に結びついたのでないかと考えられる。

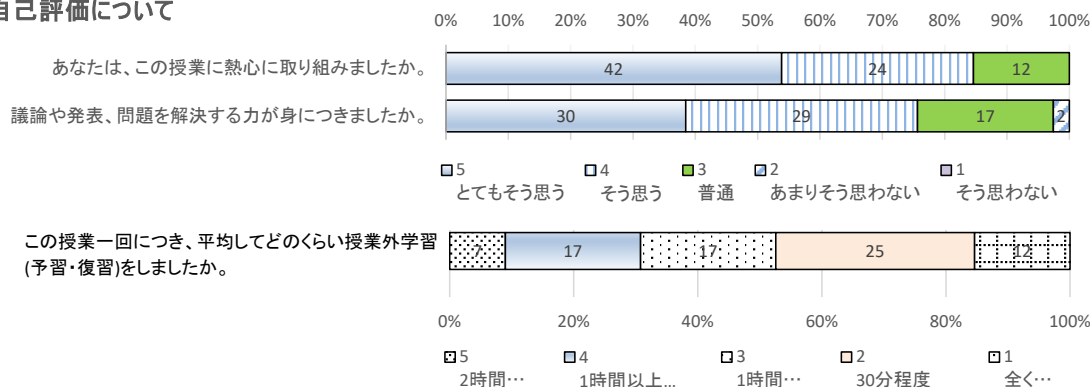
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	35	25	18	0	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	23	15	1	1	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	43	25	9	1	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	34	26	17	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	31	25	19	2	1	4.1
総平均							4.2

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	42	24	12	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	30	29	17	2	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	7	17	17	25	12	2.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

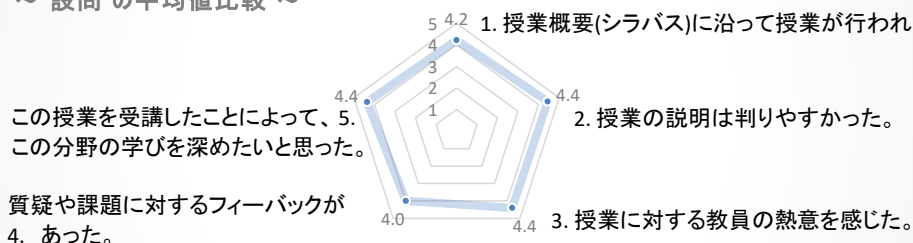
本年度の実技時間数が少ない中で、設問Ⅱの(2)から問題解決能力向上の実感を持った学生が約75%いることが分かるが、学生の柔軟な対応力とレポート主体である授業形式の可能性を感じた。
しかし、すべての授業でシラバスを遵守出来てはいないにも関わらず設問Ⅰの(1)でシラバスに沿って授業を行ったと思う学生も約75%いることから、学生の予習不足や、一人ひとりの学生とコミュニケーションができる実習の性質から低い評価をつけ難い可能性もあることを考慮すると、決して楽観視出来ない。

②課題と展望(授業改善方針)

本授業はキーボード・マウスを使用し、教員が個別対応を行うことや学生同士で協力し教え合う環境であるため、新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭におき授業を展開することが必須である。また、今まではなるべく多くの時間PCで作業することが望ましい「習うより慣れる」が技能向上において重要だったが、今後は実習の質適切に上げていくこと重要となる。このためには、学生の自宅作業環境や前提としている知識・技能の把握と、情勢に応じた研修が必要だと考える。

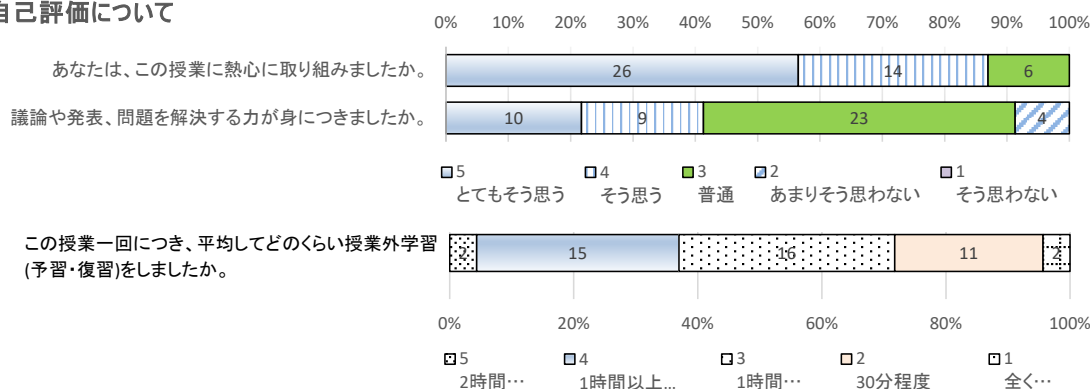
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	11	13	1	0	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	23	16	7	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	23	14	9	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	17	12	3	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	18	22	6	0	0	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	26	14	6	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	9	23	4	0	3.6
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	15	16	11	2	3.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

今年度は、コロナの影響による課題授業となってしまう、授業による学生の興味関心を広げることが十分に出来なかったのではないかと
思う。学生はそれぞれ可能な範囲で課題に取り組んでくれたが、キーワードの説明の域を出るものではなく、対面授業の大切さを考
えさせられた。学生が熱心に取り組んだと感じているのは事実で、とても真剣にレポート課題に取り組んだ様子は見て取れた。また、これ
だけの内容を書くにはやはり90分必要だったのだろうと推察している。

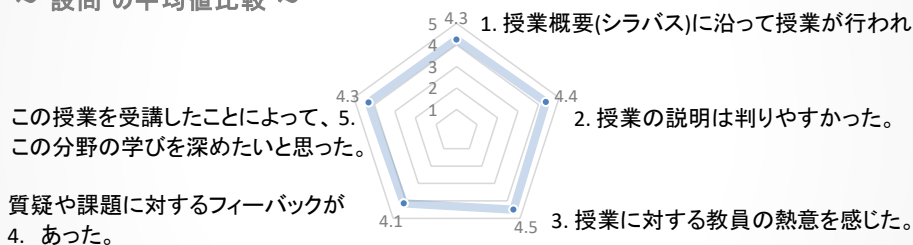
課題のフィードバックは週を追うごとに難しくなり、教員の方にも余裕がなかったと思う。

②課題と展望(授業改善方策)

今後このような授業形態が続くようであれば、この手の科目は、Zoomを活用して授業を実施する方が良いのではないかと感じている。

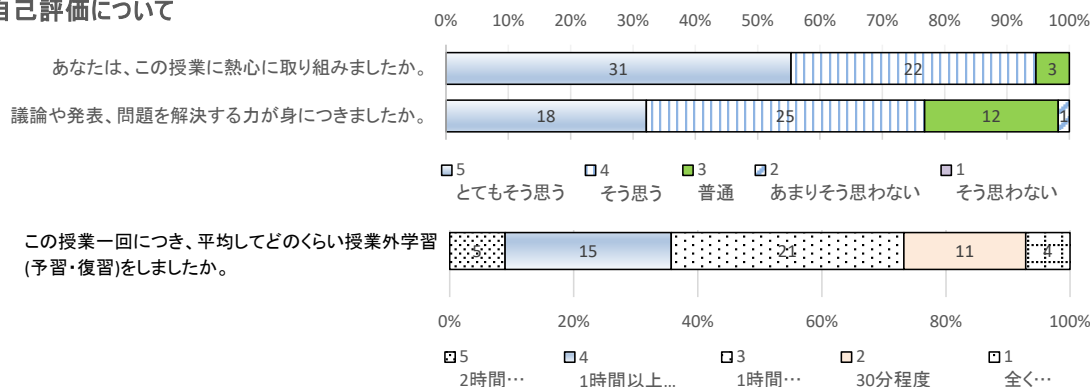
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	26	18	12	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	30	19	5	1	1	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	34	17	4	1	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	22	22	10	2	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	16	12	0	0	4.3
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	22	3	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	18	25	12	1	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	15	21	11	4	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

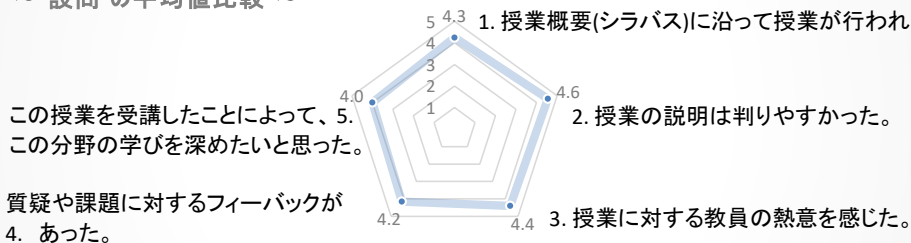
・5名の教員が、それぞれの専門性を活かして授業を展開するところにこの科目の特徴がある。アンケートに回答する学生にとっては、すべての質問項目について、授業全体としての回答が出しにくい状況があるのではないだろうか。教員一人が展開する授業に比べて、全体として数値が低い傾向があるが、学生にとっての「回答のしにくさ」が影響しているものと思われる。しかしそれはそれとして、授業展開の方法や、個々の学生の状況等について、担当者間でさらに情報共有が必要であるのも事実である。

②課題と展望(授業改善方針)

・課題レポートや授業後レポートについての基本的な方法等については、担当者間で足並みをそろえるよう努めた。今後はさらに、授業展開の方法、提示する資料の内容、授業中の学生の状況、評価方法等について、開始前の全体の確認、途中での情報交換、評価実施前の確認など、連携を密にする必要がある。

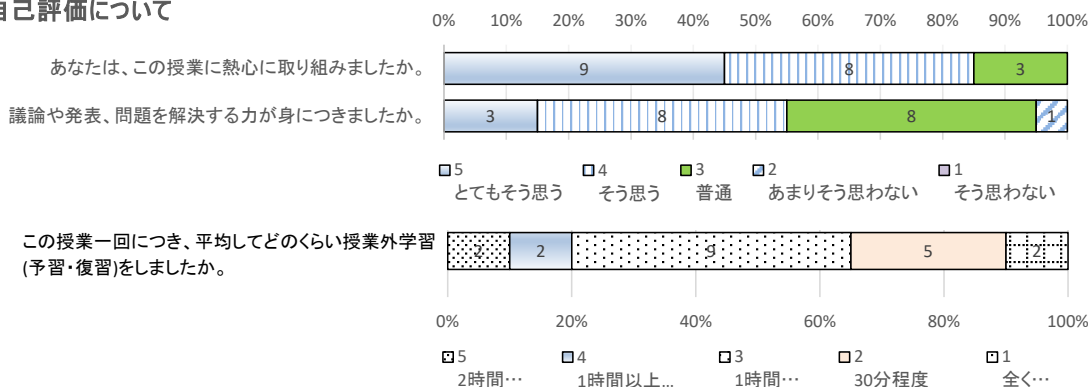
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	9	3	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	13	5	2	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	10	8	2	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	8	7	5	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	9	2	1	1	4.0
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	9	8	3	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	8	8	1	0	3.7
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	9	5	2	2.9

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

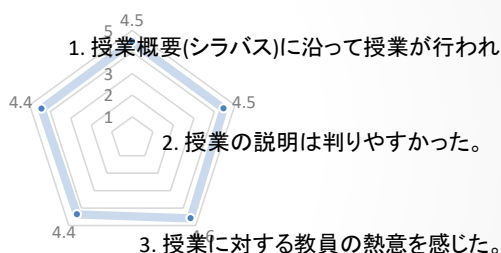
最終の対面授業が6月で半数の20名にしかアンケートを配布できなかった。合計8回の講座で、4回は自宅課題、4回は半数の者への対面講義60分で、通算すれば、対面講義120分、6回の自宅課題であった。「議論や発表、問題を解決する力の育成」には、時間が不足していた。「ボランティア活動」を巡る様々な意見、考え方の紹介、国内外の活動の注意点、問題点、最近のニュースや動向、提出された課題のフィードバックなど、時間不足は否めなかった。各人の考え方の違う「ボランティア」については、正解の無い議論から一致点を探したり、他者との違い、多様な考えを許容する態度などを身に付けるべきであるが、その時間がなかった。各自の自宅課題のレポートには、自分の考えなどの記載させ、対面授業の際に、極力全ての意見を載せた資料を配布し、コメントを加えたが、大量すぎて、目を通して議論するまでは至らなかった。是非、目を通してほしい。

②課題と展望(授業改善方策)

最後の授業後のアンケートで、「ボランティアに参加したいか」の問いに対し、「参加したい」(76%)、「どちらともいえない・ハードルが高い」(24%)であった。全国の大学生1万人へのアンケートでも、「ボランティアに興味がある」(61%)であり、決して本学の学生の割合は低くない。日本の経済規模が縮小し、行政の手の届かない部分を補うボランティア活動の意義はますます重要になる。ボランティア活動への多面的な視点、能動的な態度を身に付けるという、この講座の目標を達成するには、個々の学びの深まりこそが大切である。次年度以降は、その工夫に努めたい。

設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	40	20	5	0	1	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	37	23	5	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	46	13	7	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	25	7	1	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	37	20	9	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

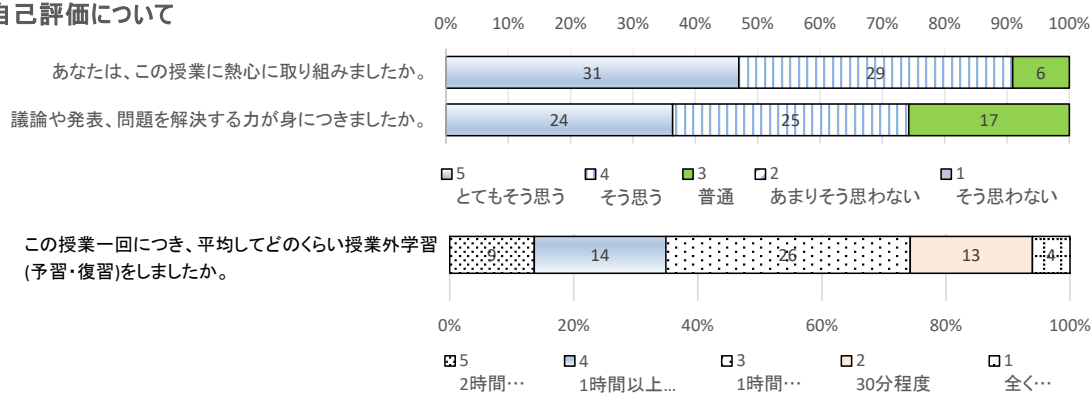


この授業を受講したことによって、5. この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックが 4. あった。

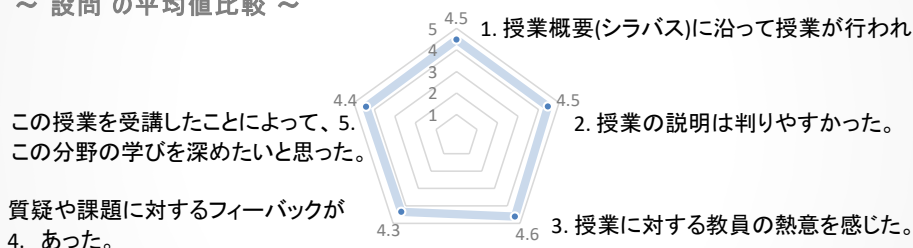
設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	31	29	6	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	24	25	17	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	9	14	26	13	4	3.2

2. 学習に対する自己評価について



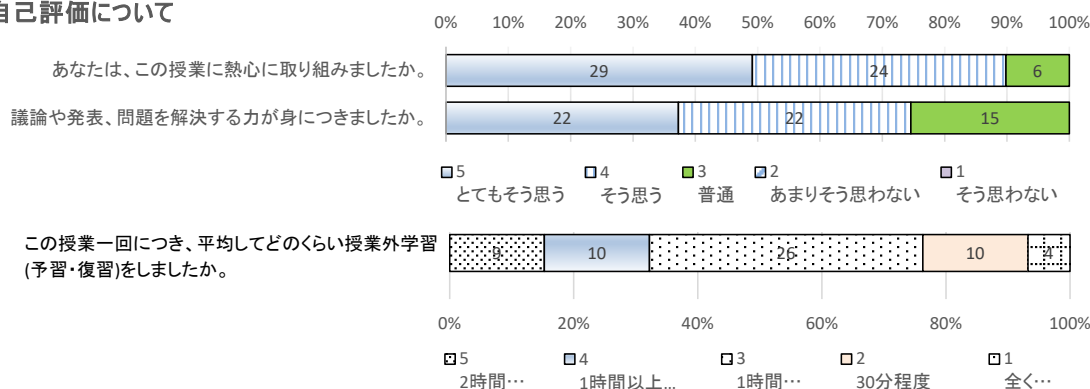
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	17	5	0	1	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	34	19	5	1	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	42	11	6	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	28	24	6	1	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	19	8	0	0	4.4
総平均							4.5

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	24	6	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	22	22	15	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	9	10	26	10	4	3.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

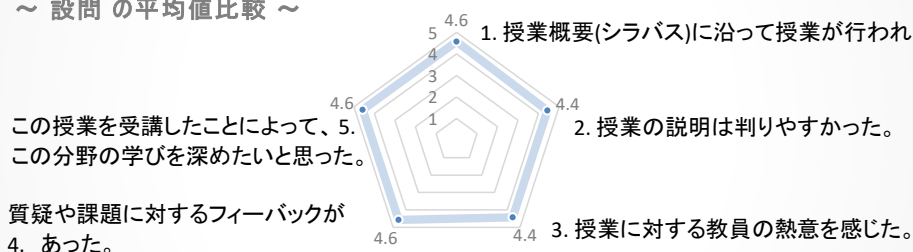
・本科目については、昨年度から計画していた海外渡航(カナダ、オーストラリア、台湾)を通じた現地での研修が中止になった関係で、シラバスの内容を年度当初に変更し、学生に周知しながら座学として開講したところである。アンケート結果を見ると、十分とは言えないが、より海外の状況を実感しながら学べるようにしたことから、一定程度の効果はあったものと捉えられる。

②課題と展望(授業改善方針)

・コロナ禍にあって、次年度も同様の状況になることもあり得るため、日本文化の学修と併せて、国際感覚をより高められるような授業の工夫・改善を図っていきたくと考えている。

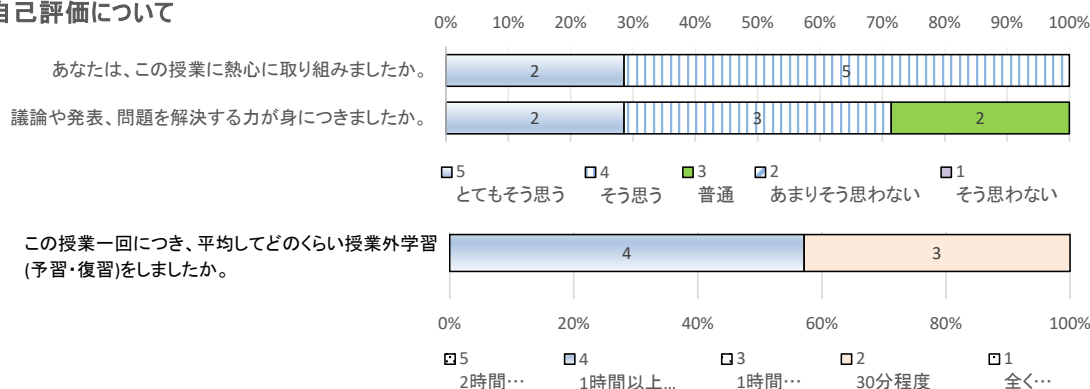
設問 I	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	3	0	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	3	4	0	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	2	1	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	1	1	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	1	1	0	0	4.6
総平均							4.5

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそう 思う	4 そう思う	3 普通	2 あまりそう 思わない	1 そう思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	5	0	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	3	2	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	4	0	3	0	3.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
議論や発表、問題を解決する力が身についたか否かのポイントが、4.0と予想していたより低かった。

②課題と展望(授業改善方策)
さらに、発表の機会を増やし、英語で議論したり問題を解決するような方向へ導いていきたい。今回はリモートでの課題提出が半数の授業にあったため、対面授業の予習復習に学生が費やす時間が不足したと考えられる。今後リモート授業が行われる際は「課題授業」と「対面授業の予習復習」の時間を明確に分けていきたい。